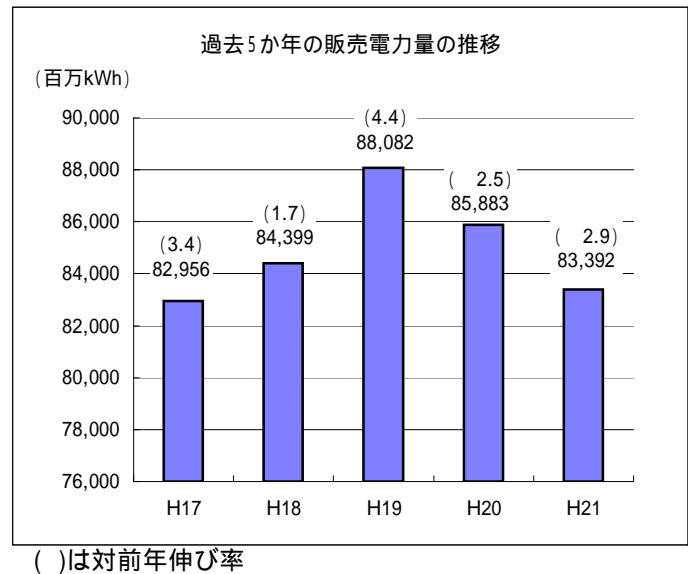


平成21年度 販売電力量

1 概況

平成21年度の販売電力量は、**833億92百万kWh**となり、前年に対し **2.9%**となりました。
(平成20年度に続き、2年連続で前年を下回り、 2.9%は過去最低)

		実績	対前年 伸び率
特定規模 需要以外 の需要	電 灯	29,172	0.3
	電 力		
	低 圧	4,691	3.3
	そ の 他	854	1.5
電灯電力計		34,717	0.7
特定規模 需要	業 務 用	19,942	1.9
	産 業 用	28,733	6.1
	特定規模需要計	48,675	4.4
販売電力量合計		83,392	2.9
再 掲	一 般 需 要	60,985	1.4
	大 口 電 力	22,407	6.7



平成21年度月別対前年伸び率 (%)										至近5年対前年伸び率 (%)					
	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度		H17	H18	H19	H20	H21
一般需要	2.0	4.4	1.2	1.8	0.4	0.9	0.9	0.8	1.4	一般需要	3.0	0.1	3.6	1.6	1.4
大口電力	14.5	10.5	7.8	1.7	9.9	14.7	15.2	2.6	6.7	大口電力	4.6	6.8	6.4	4.7	6.7
合計	5.7	6.3	3.2	0.9	2.5	4.0	4.5	0.1	2.9	合計	3.4	1.7	4.4	2.5	2.9

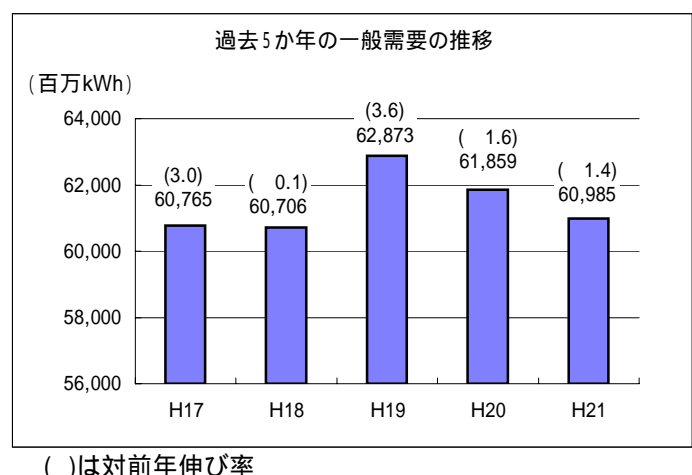
2 用途別実績

(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

7月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減少や、小規模工場・商店の需要減などから、前年に対し 1.4%となりました。

(平成20年度に続き、2年連続で前年を下回り、 1.4%は過去2番目の減少率。
なお、過去最低は平成20年度の 1.6%)

	実績	平年差	前年差
4月	15.8	0.6	0.4
5月	20.1	0.8	0.3
6月	23.6	0.8	1.2
7月	26.8	0.1	2.0
8月	28.0	0.5	0.2
9月	24.9	0.8	0.3
10月	19.6	0.7	0.8
11月	13.9	0.3	0.4
12月	8.9	0.2	0.0
1月	6.7	0.2	0.0
2月	9.7	2.5	0.5
3月	11.3	1.0	0.5



(2) 大口電力需要

下期は輸送用機械や化学、非鉄金属などで生産の持ち直しが見られたものの、上期に電気・輸送用機械や鉄鋼など主要業種の生産が減少したことから、前年に対し 6.7%となりました。

(平成20年度に続き、2年連続で前年を下回り、6.7%は過去2番目の減少率。

なお、過去最低は昭和61年度の 8.0%)

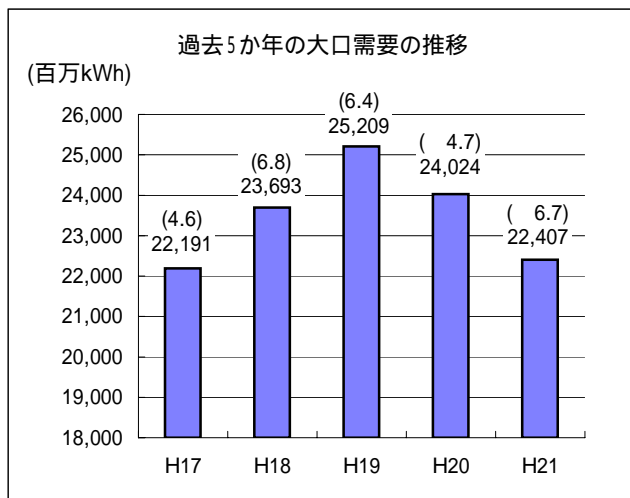
(百万kWh, %)

	実績	対前年 伸び率	構成比	特 徴
機 械 計	6,639	8.3	29.6	
電気機械	4,683	10.6	20.9	デジタル家電や半導体の生産減など
輸送用機械	1,486	0.4	6.6	上期の生産減や下期の生産持ち直しなど
鉄 鋼	1,993	20.9	8.9	上期の粗鋼生産減や一部工場における自家発稼動増など
化 学	2,372	2.8	10.6	上期の生産減や下期の生産持ち直しなど
窯 業 土 石	904	20.3	4.0	セメントやガラスの生産減など
非 鉄 金 属	1,659	1.2	7.4	上期の生産減や下期の生産持ち直しなど
大 口 電 力	22,407	6.7	100.0	

(注) その他があるため、各項目の合計は大口電力合計と一致しない。

至近5期大口電力主要業種別対前年同期伸び率 (%)

	H19		H20		H21	
	下	上	下	上	下	
機 械 計	5.2	2.3	15.7	17.7	3.8	
電気機械	1.8	0.3	16.7	19.3	1.0	
輸送用機械	18.7	14.1	12.5	12.2	14.2	
鉄 鋼	3.9	3.7	33.0	32.8	4.0	
化 学	11.3	15.9	12.8	13.5	9.7	
窯 業 土 石	13.1	7.3	8.2	25.5	15.2	
非 鉄 金 属	8.6	14.0	12.3	13.0	14.3	
大 口 電 力	4.9	3.2	12.8	14.5	2.6	

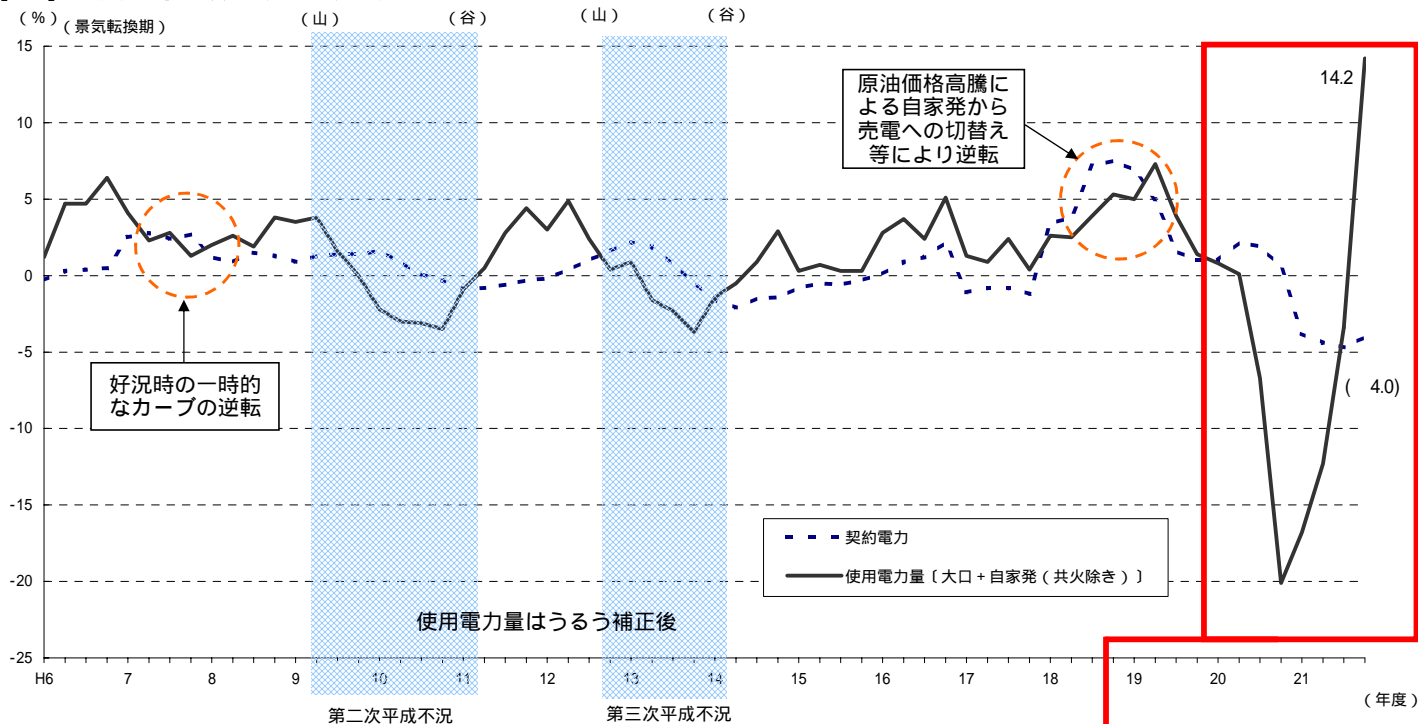


()は対前年伸び率

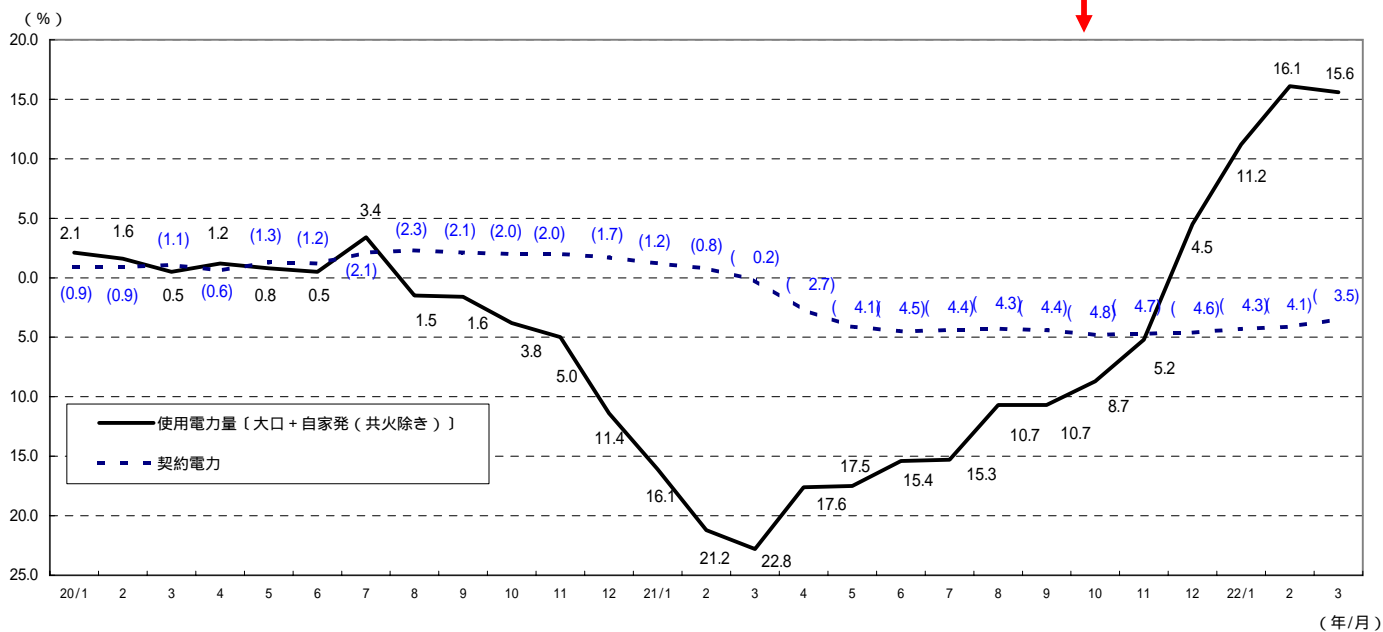
以 上

大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

（１）四半期別動向



（２）月別動向



大口カーブについて

景気動向の物差しの一つとしている大口カーブについては、4か月連続で使用電力量の伸びが契約電力の伸びを上回りました。

大口カーブは一般的に、「使用電力量」の伸びが生産活動の活発さを、「契約電力」の伸びが工場などの生産能力と、設備投資の伸びを反映しており、好況時には使用電力量の伸びが契約電力の伸びを上回り、不況時にはその逆の現象が起こります。

そのため、九州の景気は持ち直しつつあるものと考えられますが、前年度の使用電力量が大幅に落ち込んだことの反動という側面もあり、今後の動向を注視していきます。

上段：大口契約電力対前年同期比（％）
 下段：大口販売電力量＋自家発電使用電力量(共火除き：うるう補正後)の対前年同期比（％）

(四半期毎)

	6				7				8			
契約電力	0.3	0.3	0.4	0.5	2.5	2.8	2.4	2.7	1.2	0.9	1.5	1.3
使用電力量	1.2	4.7	4.7	6.4	4.1	2.3	2.8	1.3	2.0	2.6	1.9	3.8

← 第二次平成不況 →

	9				10				11			
契約電力	0.9	1.3	1.4	1.4	1.6	0.9	0.1	0.3	0.9	0.8	0.6	0.3
使用電力量	3.5	3.8	1.6	0.0	2.2	3.0	3.1	3.5	0.9	0.5	2.8	4.4

← 第三次平成不況 →

	12				13				14			
契約電力	0.2	0.4	1.0	1.6	2.2	1.9	0.7	0.4	1.6	2.1	1.5	1.4
使用電力量	3.0	4.9	2.4	0.4	0.9	1.6	2.3	3.7	1.4	0.5	0.9	2.9

	15				16				17			
契約電力	0.8	0.5	0.6	0.3	0.1	0.9	1.2	2.2	1.1	0.8	0.8	1.2
使用電力量	0.3	0.7	0.3	0.3	2.8	3.7	2.4	5.1	1.3	0.9	2.4	0.4

うるう補正前<1.1> うるう補正前<4.3>

	18				19				20			
契約電力	3.4	3.8	7.2	7.5	6.9	5.0	1.6	1.0	1.0	2.2	1.9	0.6
使用電力量	2.6	2.5	3.9	5.3	5.0	7.3	3.9	1.4	0.8	0.1	6.7	20.1

うるう補正前<2.5> うるう補正前< 21.0>

	21				22				23			
契約電力	3.8	4.4	4.7	4.0								
使用電力量	16.8	12.3	3.4	14.2								

(月 別)

	18/4	5	6	7	8	9	10	11	12	19/1	2	3
契約電力	2.8	3.5	3.8	3.6	3.8	4.2	7.0	7.2	7.5	7.5	7.5	7.5
使用電力量	1.0	4.7	2.3	2.8	3.3	1.4	3.1	4.3	4.2	4.9	4.6	6.3

	19/4	5	6	7	8	9	10	11	12	20/1	2	3
契約電力	7.4	6.9	6.5	5.4	5.0	4.7	2.1	1.6	1.2	0.9	0.9	1.1
使用電力量	5.5	4.5	5.1	5.8	7.0	9.2	6.6	2.8	2.1	2.1	1.6	0.5

うるう補正前<5.3>

	20/4	5	6	7	8	9	10	11	12	21/1	2	3
契約電力	0.6	1.3	1.2	2.1	2.3	2.1	2.0	2.0	1.7	1.2	0.8	0.2
使用電力量	1.2	0.8	0.5	3.4	1.5	1.6	3.8	5.0	11.4	16.1	21.2	22.8

うるう補正前< 23.9>

	21/4	5	6	7	8	9	10	11	12	22/1	2	3
契約電力	2.7	4.1	4.5	4.4	4.3	4.4	4.8	4.7	4.6	4.3	4.1	3.5
使用電力量	17.6	17.5	15.4	15.3	10.7	10.7	8.7	5.2	4.5	11.2	16.1	15.6